

社会福祉法人
甲府市社会福祉協議会強化発展計画
平成 31 年度実施計画

平成31年度実施計画

【法人運営部門】

推進目標 1 法人運営の強化

- 重点項目 1 強化発展計画の進行管理…………… p 1
- 重点項目 2 ガバナンスとコンプライアンスの強化…………… p 2
- 重点項目 3 事業の見直し…………… p 3

推進目標 2 人事・労務管理体制の整備

- 重点項目 4 職員配置計画の策定…………… p 4
- 重点項目 5 職員研修計画の策定…………… p 5
- 重点項目 6 人事評価制度の導入…………… p 6

推進目標 3 財政基盤の強化

- 重点項目 7 適正な財源の確保…………… p 7

推進目標 4 広報・啓発活動の推進

- 重点項目 8 広報媒体の充実…………… p 8

【地域福祉活動推進部門】

推進目標 5 地域福祉活動の推進に向けた取組

- 重点項目 9 相談体制の充実…………… p 9
- 重点項目 10 虐待防止事業の推進…………… p10

推進目標 6 住民主体による支え合いの地域づくり

- 重点項目 11 小地域ネットワーク活動の活性化…………… p11
- 重点項目 12 住民参加による地域福祉活動の展開…………… p12
- 重点項目 13 いきいきサロンの設立・運営支援…………… p13
- 重点項目 14 配食サービス事業の展開…………… p14
- 重点項目 15 生活支援体制整備事業の推進…………… p15

【ボランティア活動推進部門】

推進目標 7 中間支援組織としての機能づくりと体制強化

- 重点項目 16 協働相手と顔の見える関係づくり…………… p16
- 重点項目 17 近隣市町とのネットワーク構築による情報交換、活動協力…………… p17
- 重点項目 18 災害ボランティアセンターの運営体制の整備・強化…………… p18

推進目標 8 地域における多様な人材の育成、情報の発信

重点項目 19 地域で活躍する人材や活動が期待される人材の育成、支援……p19

重点項目 20 様々な課題に取り組むための
情報収集、ニーズの把握、情報の発信…………… p20

推進目標 9 甲府市協働によるまちづくりの推進

重点項目 21 甲府市協働によるまちづくり推進計画事業の実施……………p21

【福祉サービス利用支援部門】

推進目標 10 権利擁護体制の整備

重点項目 22 「福祉後見サポートセンターこうふ」を中心とした基盤整備…p22

重点項目 23 行政や関係機関等との連携・ネットワークの構築……………p23

重点項目 24 日常生活自立支援事業の適正な業務推進……………p24

推進目標 11 権利擁護の視点からの地域福祉の推進

重点項目 25 担い手の育成と質の高い支援活動の実施……………p25

推進目標 12 赤い羽根共同募金運動の推進

重点項目 26 募金実績の拡大……………p26

重点項目 27 適正な配分……………p27

推進目標 13 指定管理施設における市民サービスの充実

重点項目 28 指定管理施設の適正な管理・運営……………p28

【在宅福祉推進部門】

推進目標 14 在宅福祉サービス事業の見直し

重点項目 29 介護保険サービス事業等の見直し……………p29

重点項目 30 障害福祉サービス事業等の見直し……………p30

推進目標 15 笛南地域包括ケア体制の構築

重点項目 31 笛南地域包括ケア体制の充実・強化……………p31

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	法人運営部門
推進目標1	法人運営の強化
重点項目1	強化発展計画の進行管理

現状と課題	<p>少子高齢化や核家族化の急速な進行に伴い福祉課題は益々複雑・多様化しており、これに対処する事業展開を求められておりますが、本協議会の財政状況は、介護保険制度の改正等による影響から厳しさを増しており、今後の事業を進める上で早急に克服すべき課題となっています。また、平成29年4月には社会福祉法等の一部を改正する法律が施行され、組織運営のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の措置を講ずることとされました。こうした状況の中、本協議会の果たすべき使命や目指すべき方向性を明確化し、財政基盤や組織体制の強化と事業の継続的发展を目指して、この計画を展開していきます。</p>
-------	---

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	<p>計画の展開は、実施計画評価検討委員会で評価し、当該年度の事業を適確に推進し、次年度以降の実施計画に反映させるとともに、人事評価制度との連携を図ります。</p>
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	<p>PDCAマネジメントサイクルを導入する中、ローリング方式により定期的に見直しを行い、施策や事務事業を評価し、改善しながら推進していきます。</p> <p>①10月1日及び1月1日を基準日とし、それぞれ上半期の取組状況を10月に、下半期の取組状況（年度末の状況を見込む。）を1月に評価を行います。</p> <p>②1月中旬～2月上旬に、次年度以降の実施計画と平成32年度の事業計画を策定します。</p>
---	---

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
実施計画評価検討委員会の開催	開催	開催	開催

実施計画内容の検討・確認 事業実施状況の評価	実施	実施	実施
---------------------------	----	----	----

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	法人運営部門
推進目標1	法人運営の強化
重点項目2	ガバナンスとコンプライアンスの強化

現状と課題	社会福祉法等の一部を改正する法律の改正によって、本協議会では改正後の関係法令等に基づき経営組織体制の整備や財務関係書類等の公表を行っています。本協議会が市民や行政機関等から高い信頼を得るには、積極的な情報公開やコンプライアンスに関する役職員の意識の徹底、また、リスクマネジメントを日々の業務に定着させていく必要があります。
-------	---

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	法令等に定める財務関係書類等の公表にあわせ、任意のものについても積極的に公表します。また、組織としての課題の整理と規程等の見直しを図ります。さらに、ガバナンスとコンプライアンスに関する情報を入手した場合は理事会等において提供します。
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①規程等の見直しについては、12月までにリーダー等会議において課題の整理を行います。また、見直しするものについては、必要に応じて理事会等に改正内容を提案します。 ②事業運営の透明性の向上については、毎月更新のホームページ及び年3回(4月・7月・1月)発行の社協だよりに掲載し公表します。 ③ガバナンスとコンプライアンスに関する情報を、6月の理事会等において提供します。 ④コンプライアンスに関する規程案を、11月の理事会等に提案します。
-------------------------------------	---

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
規程等の見直し	実施	実施	実施
ホームページ等を活用した情報公開	実施	実施	実施
情報の提供	実施	実施	実施
コンプライアンスに関する規程4の制定	制定	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31 実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
<平成31年度実施計画>

部門名	法人運営部門
推進目標1	法人運営の強化
重点項目3	事業の見直し

現状と課題	社会情勢が変化し、福祉を取り巻く環境が大きく変わりつつあります。 このような状況を適確にとらえ、地域や利用者のニーズに則した事業を展開していく必要があります。
--------------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	状況の変化を踏まえ、必要に応じて事業全般の見直しを行います。
--	--------------------------------

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	管理職会議等で合議します。 ①10月に開催する「実施計画評価検討委員会」における評価を踏まえ、予算、人事、組織を見据えた事業の見直しを行います。 ②平成32年度の事業展開に向けて、平成32年2月までに予算、人事、組織を見据えた事業の見直しを完了させます。また、3月までに「事業計画」を策定します。
---	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
事業の見直し	実施	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31 実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	法人運営部門
推進目標2	人事・労務管理体制の整備
重点項目4	職員配置計画の策定

現状と課題	今後、事業見直しを進める中で、適正な人員配置を計画する必要があります。
-------	-------------------------------------

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	事業の見直しと並行して、検討を行い策定し、実施する。
--	----------------------------

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	事業規模の推移や業務量を把握し、適正な職員数を算定し6月までに策定して、次年度の体制整備(組織編成・人事異動)に活用します。
---	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
職員配置計画の策定	策定・実施	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	法人運営部門
推進目標2	人事・労務管理体制の整備
重点項目5	職員研修計画の策定

現状と課題	<p>社協を取り巻く環境の変化により、地域福祉を推進 する為の職員の資質向上、技術の向上、知識の深化などがより強く求められています。</p> <p>社協職員としての意識啓発や向上、研修の体系化、さらには、キャリアプランの視点等、人材育成のしきみを整備し、将来、職員一人ひとり目指すべき目標を明確にして日々の業務にあたることのできる職員を育成しなければなりません。</p> <p>そこで、職員として必要な知識・技能・人格・教養を高めるとともに、多様化する福祉ニーズへの対応を図るため、人事制度及び研修制度が有機的に連携した、人材育成に資する研修を実施していく必要があります。</p>
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	<p>社協職員としての意識の啓発や向上、研修の体系化、さらには、キャリアプランの視点等、人材育成のしきみを整備し、将来、職員一人ひとり目指すべき目標を明確にして日々の業務にあたることのできる職員を育成するため、「人材育成基本方針」を定めます。</p> <p>この基本方針に基づく、人事制度及び研修制度が有機的に連携した職員研修計画を策定し、実施に移します。</p>
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	<p>①「人材育成基本方針」は“目指すべき職員像”、“求められる意識・能力・専門知識・技術”を明確にし、計画に落とし込む「育成の方法」をまとめ上半期の9月までに策定します。</p> <p>②職員研修計画は基本方針に基づく、人事制度及び研修制度が有機的に連携させて12月を目途に策定し、できる研修メニューから随時実施に移します。</p>
---	---

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
人材育成基本方針の策定	策定	—	—
研修計画の策定・実施	策定・実施	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 **【評価シート】**
＜平成31年度実施計画＞

部門名	法人運営部門
推進目標2	人事・労務管理体制の整備
重点項目6	人事評価制度の導入

現状と課題	現在、本協議会では、正規職員については人事評価を行っておりますが、これには職員個々の「目標管理」という考えが反映されておらず、上司が勤務態度等に対し評価を行うのみのものです。今後、職員が本計画に沿って業務を遂行していくに当たっては、自らの使命や役割等を明確にした上で、自身の長所や短所を検証・自覚する中、目標達成プロセスにおけるマネジメント力を強化していく必要があります。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	職員の資質や能力の向上はもとより、組織全体の底上げを目的とするとともに職員の特性を見極め組織体制の整備や人事異動に活用する人事評価を試行します。 また、職員の処遇にも反映させる制度として整備し、平成32年度に実施できる制度を確定させます。
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	試行した結果を職員に示し、意見を聴取・意見交換するなど検証し、全職員の合意が得られる制度設計として確定させ、平成32年度の実施に備えます。
-------------------------------------	---

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
人事評価制度の導入	試行	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	法人運営部門
推進目標3	財政基盤の強化
重点項目7	適正な財源の確保

現状と課題	本協議会の収入は、行政からの委託料、補助金、指定管理料等の公費財源がその大半を占めているため、日頃から行政と連携・協働して事業の立案に努めるとともに、介護保険事業の見直しや適正な財源の確保に向けて、積極的に取組を行い安定した法人運営を目指す必要があります。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	<p>①公的財源の確保 補助・委託事業の根拠を明確にし、必要な財源を確保します。</p> <p>②自主財源の確保 地区自治会連合会の会議での会員加入の協力依頼や企業訪問による会費の増収に向けて取り組みます。組織内で新たな視点で増収に向けて検討・協議するとともに、「会費検討委員会」においても検討を進め、更なる財源の確保に努めます。</p> <p>③採算性の確保 介護保険収入等の拡充やコスト削減を行い、採算が図られるよう取り組みます。</p> <p>④中期（H32～H35）財政推計の策定と職員への説明・情報共有 財源の確保等、継続的で安定的な財務運営に取り組むため、中期（H32～H35）財政推計を策定します。</p>
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	<p>①公的財源の確保 9月までに管理職会議等において協議を行い、甲府市へ次年度予算要望書を提出します。</p> <p>②自主財源の確保 納入方法の協議検討の進捗状況に応じた対応をすることを前提に、5月中に会費の用途について分かりやすい説明資料を作成し、6月下旬に開催される地区自治会連合会の会議で会員加入の協力依頼を行います。また、12月までに会費の増収に向けて、企業等訪問活動を行います。 また、会費の増収策について組織内で検討・協議するとともに、「会費検討委員会」を開催し、9月までに今後の増収の方策を定めます。</p> <p>③採算性の確保 在宅福祉推進部門の重点項目35～36の進捗状況に合わせて採算を図ります。</p> <p>④中期（H32～H35）財政推計の策定と職員への説明・情報共有 12月頃までに中期財政推計を策定して、職員に説明し情報の共有を図ります。</p>
-------------------------------------	---

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
公的財源の確保	実施	実施	実施
自主財源の確保 会費検討委員会の開催	実施・開催	実施	実施
採算性の確保	実施	実施	実施
中長期財政計画の策定	策定	策定	策定

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	法人運営部門
推進目標4	広報・啓発活動の推進
重点項目8	広報媒体の充実

現状と課題	市民に幅広く本協議会の活動を理解していただくために、「社協だより」(年3回発行)の発行やホームページを活用し、広報活動を行っていますが、本協議会の活動に対する市民の認知度をさらに高めるため、情報発信の方法などの検討が必要です。
-------	---

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	読み手や閲覧者を意識した誌面やHPサイトづくりを行うとともに、QRコードやSNSを活用した広報活動等を展開します。また、新聞やテレビ等を活用した広報活動を展開し、パブリシティを充実させます。
--	---

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	社協だよりやチラシ、HP、QRコード、SNSを活用します。 また、甲府市の市政記者、放送局などマスコミとのチャンネルが構築できるよう、社協のイベントなどの開催に合わせ報道機関を直接訪問するなどの活動を展開します。
-------------------------------------	---

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
広報活動の充実	実施	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
<平成31年度実施計画>

部門名	地域福祉活動推進部門
推進目標5	地域福祉活動の推進に向けた取組
重点項目9	相談体制の充実

現状と課題	ふれあい福祉センター運営事業は、甲府市役所内に設置した心配ごと相談室での相談員と、地域福祉推進課におけるCSWにより、市民及び地域からの相談に対応しています。特に、心配ごと相談は、相談の入口として幅広い相談に対応するとともに、近年では、精神保健に関する心配ごと相談が多く寄せられるため、精神保健分野の相談に対しても適切な対応が必要です。
-------	--

H31年度 目標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言・援助を行うとともに、精神保健分野の相談についても適切に対応できるようにします。
---	---

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	心配ごと相談員が、相談の入り口として幅広い相談に対応できるよう、相談員の資質向上と情報共有を図るため、相談員連絡会を毎月開催し、相談事例の検証や情報交換等を行うとともに、精神保健分野に関する研修会を上半期に実施します。
-------------------------------------	---

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
相談員研修会の開催	実施	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	地域福祉活動推進部門
推進目標5	地域福祉活動の推進に向けた取組
重点項目10	虐待防止事業の推進

現状と課題	虐待防止事業は、高齢者、障がい者及び児童の虐待防止について、地区社会福祉協議会役員と福祉推進員代表者を対象に、毎年度テーマを設定して研修会を開催しています。虐待防止には地域ぐるみで取り組むことが重要であり、住民の理解が進み、地域で見守り、支え合うことができるように、ブロック単位での研修会の開催を検討する必要があります。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・いつまでに ・どれだけ ・どのレベルまで	虐待防止に関する理解を広く地域住民に広げるため、本協議会主催の研修会は、地区社会福祉協議会や福祉推進員、関係団体等、より多くの方の参加を得ながら開催します。また、今後、ブロック単位でも虐待防止研修会が開催できるよう検討します。
--	---

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①本協議会主催の研修会は、「障がい者虐待」をテーマに、講師を関係機関等から招聘して、対象者を地区社会福祉協議会関係者や福祉推進員、関係団体等に呼びかけ、より多くの方の参加が得られるよう開催します。 ②今後、ブロック単位でも虐待防止研修会を開催できるよう、支援方法等の検討を行います。
-------------------------------------	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
本協議会主催の研修会の開催	実施	実施	実施

ブロック単位での研修会の開催	検討	実施	実施
----------------	----	----	----

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
<平成31年度実施計画>

部門名	地域福祉活動推進部門
推進目標6	住民主体による支え合いの地域づくり
重点項目11	小地域ネットワーク活動の活性化

現状と課題	高齢者や障がい者、子ども等を取り巻く地域課題が複雑・多様化している中、地域住民による支え合いが一層求められています。小地域ネットワーク活動では、福祉推進員や民生委員児童委員、自治会関係者が連携し、見守りや声かけ等の活動を行っていますが、地区によって活動の進捗状況に違いがあります。各地区の現状や課題を把握していく中で、その地区に合ったアプローチ方法を模索することが必要です。改めて関係団体に対して、活動趣旨や活動方法等について理解を得ていくこととともに、地域住民に対しても広く活動の周知を行い、地域全体へ活動が浸透していくように働きかける必要もあります。
-------	---

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	①地域福祉推進計画に設定されている数値目標を達成できるよう取り組みます。 ②地域の実情に応じた方法により、ネットワークを活用した見守り、声掛け等の助け合い活動がすべての地区で継続できるように支援します。 ③活動が深化していない地区に対して、活動がさらに深まるよう積極的に支援します。
--	---

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①10月に上半期の取組状況を、1月に下半期の取組状況(年度末状況を見込む。)を評価します。 ②地域の実情に応じた方法により、小地域ネットワーク活動の趣旨を踏まえた活動の展開ができるよう、年間を通して三団体合同会議や地区の会議の開催を支援を行います。また、第13期福祉推進員の改選にともない、ネットワーク活動が停滞しないよう各地区福祉推進員会等にCSWが出向き、小地域ネットワーク活動の説明等を行います。 ③活動が深化していない地区については、年間を通じてその地区の実情に合った活動を模索し、ネットワーク活動の展開に向けてCSWが支援を行います。
-------------------------------------	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
数値目標達成のための取組	実施	実施	実施
三団体合同会議等の開催支援等	実施	実施	実施
活動が深化していない地区への支援	実施	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	地域福祉活動推進部門
推進目標6	住民主体による支え合いの地域づくり
重点項目12	住民参加による地域福祉活動の展開

現状と課題	地区社会福祉協議会は、地域住民が主体となり、高齢者、障がい者、子ども等、誰もが安心して暮らし続けることができる地域福祉活動を行っています。地域のつながりが希薄化している中、地域住民の交流の場として、福祉まつりや三世代交流事業、福祉施設との交流など行っていますが、参加者の減少や固定化等の課題も挙げられ、地域住民が積極的に活動に参加できるような取り組みを検討していく必要があります。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	各地区において、高齢者分野に限らず、子どもや障がい者等にも視野を広げた地域福祉活動の展開を支援します。また、活動を展開するにあたり、地域住民の積極的な参加や支援が得られるよう、関係団体との連絡調整や地区社協だより発行等の支援を行います。
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①CSWが各地区へ出向き、社協活動の情報共有が図れるよう、他地区の事例紹介、情報提供、助言等、活動の活性化に向けた支援を行います。 ②各地区において地区社協だより等による広報活動ができるよう、年間を通してCSWが参考資料の紹介や作成支援等を行います。
-------------------------------------	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
地域福祉活動への支援	実施	実施	実施

地区社協の広報活動支援	実施	実施	実施
-------------	----	----	----

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
<平成31年度実施計画>

部門名	地域福祉活動推進部門
推進目標6	住民主体による支え合いの地域づくり
重点項目13	いきいきサロンの設立・運営支援

現状と課題	いきいきサロンは、高齢者の閉じこもり予防や介護予防の場として、原則として、自治会単位に設置されています。しかし、運営者のなり手が確保できない、他の活動を既に行っている、自治会内に集まる場所が無い等の課題があり、いきいきサロンの設置数は伸びていません。運営者の担い手を確保するために、継続的に人材育成をする必要があります。また、いきいきサロンと同様な活動を既に行っている自主的な集まりもあることから、CSWが現状の把握を行い、甲府市と協働して今後のサロン事業について検討する必要があります。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	①高齢者支援計画に設定されているサロン新規設立及びすこやか地域サポーター養成講座の数値目標を達成できるよう取り組みます。 ②いきいきサロンの円滑な運営をCSWが支援します。 ③地域には、いきいきサロン事業と同様な集まりがあるため、現状把握を行います。
--	---

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①チラシやPC動画を使った設立支援を行うとともに、「すこやか地域サポーター養成講座」やその上級編等の運営者人材育成講座を実施し、10月に上半期の取組状況を、1月に下半期の取組状況(年度末状況を見込む。)を評価します。 ②CSWとサロン担当者によるサロン訪問を通じて、課題の把握に努め、活動が滞らないよう解決に向けての支援を行います。 ③CSW(兼生活支援コーディネーター)が地域資源の把握の一環として、自主的に活動している集まりの把握を行います。
-------------------------------------	---

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
数値目標達成のための取組	実施	実施	実施
サロンの円滑な運営への支援	実施	実施	実施

自主的な集まりの把握	実施	実施	実施
------------	----	----	----

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	地域福祉活動推進部門
推進目標6	住民主体による支え合いの地域づくり
重点項目14	配食サービス事業の展開

現状と課題	一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯で、病気や障がいによって食事づくりが困難な方を対象に、地域のボランティアの協力と受託業者との連携により、声かけと見守り、安否確認を兼ねて配食を行っています。現在、14地区で配食ボランティアによる配食が行われており、住民主体のボランティア活動として地域に定着しています。配食が必要な方への見守りや安否確認が確実にできる体制を維持出来るよう、配食ボランティア活動への支援を行います。
-------	---

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	①14地区で行われている配食ボランティア活動は、地域の見守り活動の一環として重要な活動であるため、円滑に活動が行えるよう支援を行います。 ②甲府市広報等を通じて、配食ボランティアの募集を行い、新たな担い手の確保に取り組みます。
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①地区配食ボランティア責任者と連携し、新規利用者の調整等を迅速に行うとともに、遅配・誤配等が起きないよう、休止・再開等の連絡等も確実にいきます。また、利用者への配食の際に問題が生じた場合は、速やかに対応を行います。 ②配食ボランティア活動を継続的に出来るよう、甲府市広報や社協だより、ホームページ等を活用し、年間を通して配食ボランティアの募集を行い、新たな担い手を確保します。
-------------------------------------	---

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
配食ボランティア活動に対する支援	実施	実施	実施

配食ボランティアの確保	実施	実施	実施
-------------	----	----	----

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	地域福祉活動推進部門
推進目標6	住民主体による支え合いの地域づくり
重点項目15	生活支援体制整備事業の推進

現状と課題	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくために、団体や人材と連携しながら生活支援体制の充実と高齢者の社会参加の促進を図り、支え合いの地域づくりを進めていきます。事業の周知のため、甲府市と市社協が各地区に出向いて説明会を行っています。説明会が終了した地区から協議体の設置へ向けてのアプローチ、社会資源の把握、住民主体のサービスの構築等、社協として初めて行う事項が多い中で、甲府市や地域包括支援センターと密に連携して事業を推進していきます。また、住民主体の生活支援サービスについては、行政と連携しながら進めます。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	①各地区で協議体を設置します。すでに設置済みの地区では、具体的な地域の支え合いの体制作りの実現に向けて支援します。 ②地域課題の把握と課題に対応出来る団体や人材の発掘を行います。 ③生活支援に関する人材育成を行います。
--	---

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①地区社会福祉協議会を通じて事業の説明を行いながら、地区内の各種団体等とネットワークを組み、年間を通して、協議体の設置を支援します。すでに協議体を設置している地区には、協議体と連携し、地域課題や資源・人材を把握をし、具体的な地域の支え合いの体制作りの実現に向けて支援します。 ②地域課題に対応できる方策を考える機会を設けるとともに、年間を通して地域の中の団体や人材を把握します。 ③地域の支え合いの体制作りに従事出来る人材を養成します。
-------------------------------------	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
協議体の設置	実施	実施	実施
地域の中の団体や人材の把握	実施	実施	実施
生活支援サポーターの養成	実施	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	ボランティア活動推進部門
推進目標7	中間支援組織としての機能づくりと体制強化
重点項目16	協働相手と顔の見える関係づくり

現状と課題	生活課題の深刻化や制度の対象外にある地域ニーズに対し、その解決のための住民相互の支え合いの推進や地域資源の発掘と地域課題に取り組む多様なセクターとの協働推進が求められています。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	ボランティアセンター、NPO等がお互いに想定される協働相手の強み・弱みを把握し、求められるもの、提供できるもの、協働することで生まれるものは何かを適確に把握します。また、自治会・地区社会福祉協議会・ボランティア・高齢者・子育てサロン・NPO・行政・福祉施設・学校等を対象に活動紹介や交流を行う場を開催し、連携・協働できる機会の創出を図ります。
--	---

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①年度中に3回、市内4大学のボランティアグループと意見交換会を実施し、実態把握や協働のルールづくりを検討します。 ②市民・ボランティア・NPO等の交流やボランティア情報の発信を行うため、ふれあい交流フェスタおよびボランティアウィークを開催します。 ③今年度も2地区の地区社協を指定し、学校や地域と連携して住民活動の創出を支援します。 ④ボランティアとボランティア受入施設等との情報交換を実施し、相互のスキルアップを図ります。
-------------------------------------	---

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
市内4大学とのネットワーク構築	実施	実施	実施
ボランティア・NPO等の交流会	実施	実施	実施
地域ぐるみボランティア活動推進事業の実施	実施	実施	実施
ボランティアとボランティア受入施設等との情報交換	実施	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 **【評価シート】**
＜平成31年度実施計画＞

部門名	ボランティア活動推進部門
推進目標7	中間支援組織としての機能づくりと体制強化
重点項目17	近隣市町とのネットワーク構築による情報交換、活動協力

現状と課題	多様な団体が協働し、地域課題などの解決を促進し、豊かで活力ある持続可能な地域社会を実現することを目的とし、平成29年9月に「甲府市協働のまちづくり推進行動計画」が策定されました。 ボランティアセンターは中間支援組織と位置付けられ、協働の推進にあたって重要な役割が期待されています。まちづくりを協働により効果的に進めていくためには、組織間で目標や事業推進上の役割分担等についてルールを取り決め、事業を進める必要があります。
--------------	---

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	ボランティア・市民活動組織等に対して、広域協働活動支援、研修機会の提供、情報提供、組織化支援等を展開します。そのため、近隣社協とのネットワークを形成します。
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方	①年度内に3回(7月、10月、1月)、県ボランティア・NPOセンターと連携を図る中で、甲府地区広域行政事務組合圏域の社会福祉協議会とのネットワーク会議を開催し、ボランティアの交流と活動支援を実施します。 ②相互の事業を把握し、事業の協働開催を実施します。
--	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
ネットワーク強化	実施	実施	実施

事業の協働開催	実施	実施	実施
---------	----	----	----

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	ボランティア活動推進部門
推進目標7	中間支援組織としての機能づくりと体制強化
重点項目18	災害ボランティアセンターの運営体制の整備・強化

現状と課題	東日本大震災、熊本地震をはじめとする災害発生に対して、被災地の復旧復興支援を担うスタッフの強化が求められています。
-------	---

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	災害時に備えて平常時から災害ボランティア・災害ボランティアセンターへの理解と協力を得るため、人材の育成、情報発信等を進め、社会的装置としての災害ボランティアセンターの適確な運営を目指します。
--	---

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	社会的装置としての災害ボランティアセンターの運営を適確に行うため、運営訓練を実施します。また、運営訓練にあわせて、人材育成に向けた学習会を実施し、訓練の結果を踏まえ、災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しを行います。
-------------------------------------	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
災害ボランティアセンター 運営訓練	実施	実施	実施

受援体制、運営体制の強化	実施	実施	実施
--------------	----	----	----

--	--	--	--

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	ボランティア活動推進部門
推進目標8	地域における多様な人材の育成、情報の発信
重点項目19	地域で活躍する人材や活動が期待される人材の育成、支援

現状と課題	あらゆる人の社会参加を支援し、ボランティアのニーズ側からのアプローチだけではなく、ボランティアをしたい人の希望や関心がおろそかにならないように誰でもボランティアが出来るよう、受け皿を確保するための働きかけが必要です。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	地域生活課題の解決に向けて、人材の養成を計画的に行います。また、ボランティアビューロー利用者会議やボランティア受入施設等の担当者会議の開催等を行い、情報交換や人材育成を図ります。
--	---

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①本年度中に6回、ボランティア養成講座を開催し、地域の人材を育成します。 ②小中高の児童・生徒のボランティア精神を養うことを目的として、各学校が実施するボランティア活動を支援します。 ③随時、ボランティアビューロー、資器材の貸出を行います。
-------------------------------------	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
ボランティア出前講座・養成講座の開催	実施	実施	実施

福祉ボランティア活動実践校事業の実施	実施	実施	実施
--------------------	----	----	----

ボランティアビューロー、貸出器材などの貸出	実施	実施	実施
-----------------------	----	----	----

上半期 進捗状況 (4月～9月)			
評価検討 委員会の意見			

H31実績			
評価検討 委員会の意見			

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	ボランティア活動推進部門
推進目標8	地域における多様な人材の育成、情報の発信
重点項目20	様々な課題に取り組むための情報収集、ニーズの把握、情報の発信

現状と課題	年3回発行の社協だより、年5回発行のボランティアニュース、県ボランティアボードや甲府市広報を活用した情報発信を行っています。SNS等のインターネットを利用した情報発信を行うことで、若い世代にも情報を提供出来るよう工夫が必要です。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	ボランティアセンター、NPO等が様々な情報発信を行うことで、地域の生活課題やその解決に関わる様々な地域の関係者の存在を地域に周知します。
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①社協だより(年3回)、ボランティアニュース(年5回)、甲府市広報、甲府市ボランティアセンターフェイスブック、県ボランティアボード、パブリシティ等を有効に活用し、活動者、団体、関係機関に対して今後の活動のきっかけづくりとなるよう、活動紹介、活動の在り方等を発信します。 ②地域資源を発掘するため、公共施設等のボランティアコーナーの設置を行い、ボランティアの相談や情報発信を行います。
-------------------------------------	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
ボランティア情報の発信	実施	実施	実施

ボランティアコーナーの設置	検討	実施	実施
---------------	----	----	----

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
<平成31年度実施計画>

部門名	ボランティア活動推進部門
推進目標9	甲府市協働によるまちづくりの推進
重点項目21	甲府市協働によるまちづくり推進計画事業の実施

現状と課題	多様な団体が協働し、地域課題等の解決を促進し、豊かで活力ある持続可能な地域社会を実現することを目的とし、平成29年9月に「甲府市協働のまちづくり推進行動計画」が策定されました。 ボランティアセンターでは、中間支援組織と位置づけられ、協働の推進にあたって重要な役割が期待されています。まちづくりを協働により効果的に進めていくためには、組織間で目標や事業推進上の役割分担等についてルールを取り決め、事業を進める必要があります。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	「甲府市協働によるまちづくり推進行動計画」に位置付けられた施策を、甲府市と役割分担等ルールを取り決め、協働により実施します。
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①まちづくりを担うボランティアコーディネーターを育成します。 ②地域課題を解決に結び付ける役割を担う地域リーダーを育成し、活用します。 ③甲府市協働推進課と共同して、ボランティア人材登録制度を確立し、活用を図ります。 ④その他「甲府市協働によるまちづくり推進行動計画」に基づく取組事業を甲府市と共同により推進します。
-------------------------------------	---

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
ボランティアコーディネーターの育成	実施	実施	実施
地域リーダーの育成	検討・実施	実施	実施
ボランティア人材登録制度	検討・実施	実施	実施
その他、行動計画に基づく事業を甲府市と共同実施	実施	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	福祉サービス利用支援部門
推進目標10	権利擁護体制の整備
重点項目22	「福祉後見サポートセンターこうふ」を中心とした基盤整備

現状と課題	日常生活自立支援事業の利用者が判断能力を欠く常況になったあとも引き続き支援できる仕組みづくりとして、平成29年度から新たに成年後見制度に関する事業を一部開始しました。成年後見制度に関する事業については、需要の増大に合わせ、安定的に継続していく必要性が高く、将来を見据えた基盤整備が必要です。
-------	---

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	成年後見制度に関する事業を安定的に継続して実施していくための基盤として、「福祉後見サポートセンターこうふ」の職員体制を、配置職員の担当業務の見直しにより充実させます。 また、「福祉後見サポートセンターこうふ」運営委員会や成年後見制度利用検討部会を計画的に開催し、運営の方向性の確認、法人後見の計画的な受任と適正な後見事務の遂行を行います。
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①生活福祉資金貸付担当職員（非常勤嘱託職員）に、成年後見業務の一部を担当させます。 ②「福祉後見サポートセンターこうふ」運営委員会を、4月と10月の年2回開催します。 「成年後見制度利用検討部会」を、年4回（5月・8月・11月・2月予定）開催します。
-------------------------------------	---

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
「福祉後見サポートセンターこうふ」の運営	運営	運営	運営

「福祉後見サポートセンターこうふ」運営委員会の設置と開催	開催	開催	開催
------------------------------	----	----	----

成年後見制度利用検討部会の開催	開催	開催	開催
-----------------	----	----	----

上半期 進捗状況 （4月～9月）	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	福祉サービス利用支援部門
推進目標10	権利擁護体制の整備
重点項目23	行政や関係機関等との連携・ネットワークの構築

現状と課題	甲府市が平成31年4月に成年後見制度中核機関を設置し、その運営を当協議会が受任することに伴い、甲府市が行う中核機関の基本的機能である権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築に協力するとともに、同ネットワークの運営を通じて甲府市の実情に応じた成年後見制度の利用促進及び具体的な事案の支援者チームの編成を行います。
-------	---

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	中核機関における地域連携ネットワークの構築は、設置者である甲府市と市社協が協力して実施します。ネットワークの構築に伴い、設置する協議会において連携の基本方針、先進事例への対応等を協議する他、定例会において個々の事例に応じた支援者のチーム編成を行います。
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①7月までにネットワーク構築を支援し、協議会、定例会を運営します。 ②協議会を年2回開催し、情報交換や協議を行います。 ③定例会を毎月（当面は隔月）開催し、個々の事例への対応方針、チーム編成などを検討します。
-------------------------------------	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
ネットワークの構築支援	構築・運営	運営	運営

協議会の開催	設置・開催	開催	開催
--------	-------	----	----

定例会の開催	設置・開催	開催	開催
--------	-------	----	----

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	福祉サービス利用支援部門
推進目標10	権利擁護体制の整備
重点項目24	日常生活自立支援事業の適正な業務推進

現状と課題	日常生活自立支援事業については、平成11年から取り組んでいるが、事業内容の周知と生活支援員の支援活動の充実、現行制度ではカバーできないサービスへの対応を検討していく必要があります。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的を達成するため、広報に努め、事業内容の周知を図ります。 ・生活支援員に支援時の心構え、支援技術、記録内容等の研修を行い、支援の質の向上を図ります。 ・現行の県社協事業ではカバーできない新たなサービスを、市社協独自事業として検討します。
--	---

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①事業の広報については、地域包括支援センターや基幹相談支援センターの勉強会等で、日常生活自立支援事業の説明、広報紙への掲載、ホームページの充実を行います。 ②5月に日常生活自立支援事業の支援時の心構え、支援技術、記録内容等についての研修会を開催します。 ③年間を通じて生活支援記録簿を活用した、生活支援員が支援活動の振り返りを行うよう指導します。 ④年度内に市社協独自事業の創設に取り組みます。
-------------------------------------	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
事業の広報	実施	実施	実施

生活支援員の研修・指導	実施	実施	実施
-------------	----	----	----

生活支援員の指導	実施	実施	実施
----------	----	----	----

独自事業の創設	検討	創設・実施	実施
---------	----	-------	----

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
<平成31年度実施計画>

部門名	福祉サービス利用支援部門
推進目標11	権利擁護の視点からの地域福祉の推進
重点項目25	担い手の育成と質の高い支援活動の実施

現状と課題	市の委託事業として平成29年度から市民後見人の養成を行い、平成30年度には市民後見人活動バンク登録者のうち2名が、10月から法人後見支援員として単独活動を開始しました。今後も、研修修了者の日常生活自立支援事業の生活支援員として、育成とバンク登録の奨励、法人後見支援員の活動支援により人材育成を行う必要があります。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	<ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人候補者については、「権利擁護の視点での活動のあり方」を実践研修、フォローアップ研修Ⅰ、Ⅱで実施します。 ・生活支援員、法人後見支援員となった者については、単独で活動が行えるよう支援します。
--	---

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	<p>①市民後見人候補者の実践研修は5～8月に開催、フォローアップ研修Ⅰは2月、フォローアップ研修Ⅱは10月に開催します。</p> <p>②平成30年度市民後見人養成講座修了者には、平成31年10月を目途に、単独訪問ができるよう、同行訪問活動において支援の助言・記録内容の指導等を行います。</p> <p>③法人後見支援員には、支援活動の実績を重ねさせ、年度内に単独で市民後見人として受任ができるよう育成します。</p>
-------------------------------------	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
市民後見人養成講座の開催	実施	実施	実施
生活支援員の育成	実施	実施	実施
法人後見支援員の育成	実施	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 **【評価シート】**
＜平成31年度実施計画＞

部門名	福祉サービス利用支援部門
推進目標12	赤い羽根共同募金運動の推進
重点項目26	募金実績の拡大

現状と課題	共同募金運動は、運動の目的が生活困窮者への支援等から地域の課題解決等への移行や災害義援金への関心度が上がるなどの変化が見られ、共同募金の必要性及び重要性は年1回発行する広報紙やホームページだけでは市民に伝わり難いのが現状であるため、民児協や自治連等と連携する中でより効果的に募金の趣旨のPR等を図る必要があります。
-------	---

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	民児協や自治連等、各種団体と連携し協力を得る中、配分による成果を周知・広報し、募金実績の拡大に引き続き取り組みます。
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①配分による成果の広報については、募金の趣旨や使途をより明確にし、7月までに広報紙の作成を行い、9月には自治会にて組回覧を行います。 ②「募金百貨店プロジェクト」については、引き続き広く事業の周知と事業所の募集を行い、9月までに新たに参画する事業所を選定し、実施します。 ③プロスポーツチームや大型商業施設等との連携については、ヴァンフォーレ甲府と引き続き連携し、募金箱の設置については、山梨県共同募金会と協議する中で甲府市内の事業所に依頼を行います。
-------------------------------------	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
共同募金のお願いと募金の効果的な周知	実施	実施	実施
「募金百貨店プロジェクト」実施 事業者の選定と支援	実施	実施	実施
プロスポーツチームや大型商業 施設との連携	実施	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	福祉サービス利用支援部門
推進目標12	赤い羽根共同募金運動の推進
重点項目27	適正な配分

現状と課題	共同募金配分金は、前年度の募金実績や目標額の達成度、人口数等に応じて山梨県共同募金会（以下：県共募）にて算出されています。甲府市においては実現困難な目標額であることや募金実績の減少が配分金の減少に影響しています。また、地区社会福祉協議会や福祉施設及び団体等への配分については、毎年ほぼ同じ内容や施設等から申請されているため、申請要領等を引き続き広く周知し、より幅広い活動や施設から申請があるよう県共募と協議を行う必要があります。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	地区社会福祉協議会及び施設・団体等に配分目的を周知し、申請された内容が共同募金の趣旨に沿った内容であるか、また、地域福祉の推進等に資する事業であるか等を適切に精査し、効果的な配分に繋がります。
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①配分申請依頼については、地区社会福祉協議会や福祉施設等に共同募金の活用について4月下旬までに説明し、県共募には新たな事業所や施設が申請資料の作成に取り組むため、申請の締め切りの延長を要望します。②福祉施設からの申請については、申請内容を十分精査し、6月に行う施設実態調査において改めて今後も共同募金の趣旨に沿った申請を行うよう助言します。
-------------------------------------	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
配分の趣旨の周知と申請内容の精査	実施	実施	実施

適正な配分について県共募との協議	実施	実施	実施
------------------	----	----	----

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 **【評価シート】**
＜平成31年度実施計画＞

部門名	福祉サービス利用支援部門
推進目標13	指定管理施設における市民サービスの充実
重点項目28	指定管理施設の適正な管理・運営

現状と課題	平成18年3月から指定管理者として福祉センター、上九の湯ふれあいセンター等の管理・運営に取り組んでいますが、独立採算を図ることが困難な施設については、随時甲府市と適正な管理運営について協議していく必要があります。また、施設や設備の老朽化が顕著な箇所についても、引き続き、修繕や改修について甲府市と予算面での協議を行う必要があります。
--------------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	新たな指定管理期間初年度となる平成31年度は、引き続き甲府市との基本協定等に基づき、適正な管理・運営を行います。また、施設及び設備の修繕については、単年度の修繕要望と併せ、長期的な修繕計画の作成も甲府市と協議します。
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	甲府市との基本協定等に基づき適正な管理・運営に努め、指定管理者応募時の企画提案事項の実施に向けて特に次の取り組みを行います。 ①福祉センターバスの合理的な運行 ②各施設の電気供給契約の見直し ③上九の湯、健康の杜センターの利用促進に関する新規事業等
---	---

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
適正な管理・運営	実施	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	在宅福祉推進部門
推進目標14	在宅福祉サービス事業の見直し
重点項目29	介護保険サービス事業等の見直し

現状と課題	各介護事業の人材確保が難しい状況になっているとともに、民間企業の介護事業参入や介護報酬改定により、本協議会の介護事業における収益が低迷しており、収支の均衡が取れていません。今後の事業展開においては、安定した事業運営を遂行するために、福祉施策の動向を見据えた事業展開を行っていく必要があります、そのための事業見直しへの取組が必要です。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	①介護保険サービス事業等において、収支のバランスが取れた、減益とならない事業運営に取り組みます。 ②国等の福祉施策の動向を見据えた、事業展開を調査・検討します。
--	---

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①介護保険経営委員会を3ヶ月に1回開催し、各事業所の収支計算表の分析と毎月の予算・決算の目標管理を行いながら、新規利用者の獲得のための営業を強化するとともに、新たな加算取得や保険外サービスを検討・創出します。 ②介護保険・障害福祉サービス等事業検討会議を毎月開催し、福祉施策の動向を見据えた介護保険事業を展開するための調査・検討を行い実行できるものから実施します。
-------------------------------------	---

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
介護保険経営委員会の開催	実施	実施	実施
介護保険・障害福祉サービス等事業検討会議の開催	実施	実施	実施

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
＜平成31年度実施計画＞

部門名	在宅福祉推進部門
推進目標14	在宅福祉サービス事業の見直し
重点項目30	障害福祉サービス事業等の見直し

現状と課題	各障害福祉サービス事業の人材確保が難しい状況になっていることとともに、民間企業の障害福祉サービス事業参入や報酬改定により、本協議会の障害福祉サービス事業における収益が低迷しており、収支の均衡が取れていません。今後の事業展開においては、安定した事業運営を遂行するために、福祉施策の動向を見据えた事業展開を行っていく必要があり、そのための事業見直しへの取組が必要です。
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	①障害福祉サービス事業等における、収支のバランスが取れた、減益とならない事業運営に取り組めます。 ②国等の福祉施策の動向を見据えた、事業展開を調査・検討します。 ③指定特定相談支援事業所を平成31年度をもって廃止します。
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	①介護保険経営委員会を3ヶ月に1回開催し、各事業所の収支計算表の分析と毎月の予算・決算の目標管理を行いながら、新規利用者の獲得のための営業を強化するとともに、新たな加算取得や保険外サービスを検討・創出します。 ②介護保険・障害福祉サービス等事業検討会議を毎月開催し、福祉施策の動向を見据えた障害福祉サービス事業を展開するための調査・検討を行います。 ③指定特定相談支援事業所の廃止と利用者の円滑な他事業所への移行に取り組めます。
-------------------------------------	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
介護保険経営委員会の開催	実施	実施	実施

介護保険・障害福祉サービス等事業検討会議の開催	実施	実施	実施
-------------------------	----	----	----

指定特定相談支援事業所の廃止・利用者の移行	廃止・移行		
-----------------------	-------	--	--

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
------------------------	--

評価検討 委員会の意見	
----------------	--

H31実績	
-------	--

評価検討 委員会の意見	
----------------	--

甲府市社会福祉協議会強化発展計画 【評価シート】
<平成31年度実施計画>

部門名	在宅福祉推進部門
推進目標15	笛南地域包括ケア体制の構築
重点項目31	笛南地域包括ケア体制の充実・強化

現状と課題	<p>甲府市笛南地域包括支援センターは、中道・上九一色地区の地域の中核機関として、地域包括ケア体制の推進に取り組んでいます。中道地区は、専業農家が多く、後期高齢者になっても農業に従事することにより、「生きがい」を持って健康な生活を送っている高齢者が多くいます。今後も引き続き、健康な生活が送れるような取組が必要です。</p> <p>また、上九一色地区は、高齢化率が非常に高く人口減少も進んでおり、高齢者の一人暮らしや高齢者世帯も増加しています。地域で支える人口が少なくなっている中で、互いに地域生活を支え合う仕組みづくりが必要です。</p>
-------	--

H31年度 目 標 ・どこまで ・どれだけ ・どのレベルまで	<p>住み慣れた地域で安心して暮らせる環境をつくるため、地域の福祉関係者や関係機関との連携を強化し、地域包括ケア体制の充実と強化を図ります。</p>
--	--

H31年度 取組方法 ・いつまでに ・どんなやり方で	<p>①多職種協働による自立支援型地域ケア会議を年に1回、通常の地域ケア会議を高齢者と支援者の状況に合わせ随時開催し、ケアマネジメントを充実させるとともに、ネットワーク構築機能の強化を図ります。</p> <p>②地区自治会連合会等、関係機関の参加による高齢者支援地域推進会議を年に3回以上開催し、地域で必要な資源の充実と、施策立案の強化を図ります。</p>
---	--

取組方法及びスケジュール

取組方法 \ 年度	H31	H32	H33
地域ケア会議の開催	実施	実施	実施

高齢者支援地域推進会議の開催	周知・実施	周知・実施	周知・実施
----------------	-------	-------	-------

上半期 進捗状況 (4月～9月)	
評価検討 委員会の意見	

H31実績	
評価検討 委員会の意見	